

「中長期整備実施河川の検討」について

1. 検討の概要

県の河川改修関係事業費は、厳しい財政事情のもとで平成20年度は10年前に比べ約4分の1にまで減少しており、一方県内の多くの河川の安全度は依然として低い水準にある。さらに近年の気候変動により、全国各地で記録破りの豪雨が頻発している。こうした中で、県としても限られた予算の中で、県内の治水安全度の均衡に配慮し、効率的に治水安全度を高めるための整備を進めるに際しては、河川ごとの優先順位を検討して行く必要がある。

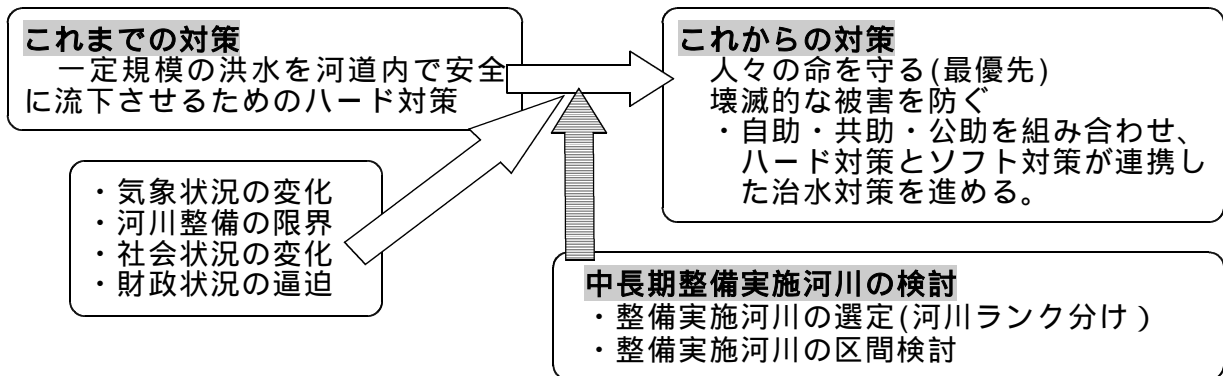
そこで、「中長期整備実施河川の検討」として、洪水が発生した場合に想定される氾濫区域内の人口・資産や浸水戸数、被害の程度などの幅広い評価指標を用いて、今後20年間に整備に着手していく必要のある河川とそれら河川ごとの整備予定区間を選定する作業を進めている。

この選定の考え方について、県民の方々を対象に彦根、高島、守山の県内3会場において説明会を開催し、概要は以下のとおり。

今後、選定結果は、説明会の開催やホームページ等で公表していく予定。

そして、この検討結果を踏まえ、具体的にどの河川のどの区間を整備するかについては、今後、河川整備計画を取りまとめる各圏域での「川づくり会議」や「淡海の川づくり検討委員会」における議論を踏まえ、関係自治体首長の意見も聴きながら河川整備計画として取りまとめていく。

滋賀県の治水政策の基本的な考え方



「中長期整備実施河川の検討」の流れ

・淡海の川づくり検討委員会 平成20年7月15日(火)

・説明会「これからの整備実施河川について」
:(検討方法の説明)

・県内3会場で開催
彦根 平成20年8月10日(日)
高島 平成20年8月31日(日)
守山 平成20年8月31日(日)

・「淡海の川づくり検討委員会」
(必要に応じて開催)

・「これからの整備実施河川について」
(選定結果公表)
・説明会及び県ホームページでの公表
・各振興局や市町役場での閲覧

・川づくり会議(各圏域ごとに開催予定)
・具体的な内容について意見を伺う

・淡海の川づくり検討委員会(方針決定)

・河川整備計画(案)策定

説明会で出された意見

気象変動への対応について
河川整備計画の策定について
河川の維持管理について
予算の確保について
説明方法について
説明の指標について
住民の意識について
芹谷ダムについて
北川ダムについて
身近な小河川について
ハザードマップについて
など